



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレター No. 157

2021年8月



深呼吸して、祈って、さがせ

明野キリスト教会牧師 大頭眞一

聖書 ローマ 8:28 (口語訳)

神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

【2月8日のこと】

2月8日のことです。その日、教会員から電話があって、「詐欺にあいそうになったんだが、守られた。いま、あと処理中。」と言います。私は、なにかおかしいと感じて教会員宅に行きました。するとそこへ「受け子」と呼ばれる若者が現れ、捕らえようとした私を振り切って逃げて行きました。彼はすぐに警察に捕まり、現在公判中です。あのときのことを思い出すたびに、自衛官のことを考えます。専守防衛。これは言うが易く行うのは難しいことです。映画「空母いぶき」やコミック「ジパング」を見ると、専守防衛は圧倒的な力の差がなければ不可能。ギリギリまでがまんして、相手に撃たせて、それからやっと自分を守る、これは至難のわざです。そのために自衛官たちは猛訓練に励んでいるわけですね。

ところが、そこから不思議なことが始まりました。まず警察官たちが、「教会って仲がいいんですね。なんでも話し合ってください。」と言いだしたことです。私は「(神の) 家族のようなものなんです。」

と、話しました。とくに担当の方とは仲良くなっているいろいろ相談にのってもらえるようになりました。また京都地検に呼ばれたときには、世界の破れをつくらう神さまのお働きについて語る機会も与えられました。

主語は神さま。神さまが、私たちと共に働いてくださる。小さな私たちをそのみわざに加えてくださる。与らせてくださいます。

【置かれた場所でていねいに】

同じローマ書の8章には「実に、被造物全体が、今に至るまで、共にうめき共に産みの苦しみを続けていることを、わたしたちは知っている。」(22節)とあります。

世界には三つの破れがあります。神と人との間が破れ、人と人との破れ、人と被造物の間が破れてもだえています。人と被造物の間の破れはコロナを考えていただくとわかりやすいかもしれません。

この詐欺事件もまた世界の破れの一つの現れだと思います。あの受け子の腕をつかんだとき、私はなんともぞっとしました。まったく力が入っていないんです。虚無というか、まるで穴ぐらに手を突っ込んだようでした。この人の中には絶望しかないんだな、と思いました。京都地検で聴取の後、感想を訊かれたのですが、私は「世界全体が苦しんでいるように感じます。世界が破れていて、この事件もその現れのひとつだと思います。検事さんはそのお立場で破れをつくらっておられる。尊いことです。私は別の方面で、人の心に働きかけて破れをつくらって行きます。」と答えました。若い検察事務官が、帰るときにははとめていねいに送り出してくれたことが印象的でした。神さまは私たちそれぞれを置かれた場所で用いてくださいます。「置かれた場所でていねいに」は、私がよく語る言葉です。教会に「お姑さんのおむつを替えるとき、ああ、私はこうして世界の破れをつくらっているんだ、と思います。」と言った人がいて嬉しくなりました。

私たちは置かれた場所で世界の破れをつくらうのです。神さまのみわざに加わるのです。どうか教会で掃除をしたり、献金を数えたりすることだけが、神さまに仕えることだと思わないでください。私た

ちがもつとも多くの時間を費やす仕事や家庭こそが主戦場です。置かれた場所で普通のことをきちんとていねいに愛を注いで行うのです。

一方、御霊の実である愛、喜び、平安、寛容、親切、善意などの、他人を愛し、他人に仕えることは、祈りをもって決断しなければできない。これらは、人間的な「わざ」ではなく、キリストを受け入れた謙遜な魂に宿る聖霊の働きによって結ばれる実である。これらの良い実こそが律法の目標です。

最初の「愛」は、他の徳の基礎であり、ここにあげられているいくつかの徳は、I コリント 13 章 4~7 節では、愛の特質とされています。新約聖書のいうキリスト者の愛とは、他人を尊び、その価値を認め、他人の幸せを望むことです。

【神のうめきを知って】

26 節には、「御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって」とあります。御霊なる神さまがうめいてくださっているというのです。京都地検の検事と私には、ただ一つ、ちがひがあります。神さまのうめき、神さまのお心を知っていることです。

今週は、イースターを祝った私たち。先立つレントの期間には、十字架を思いつつ過ごしました。神さまは破れてしまったこの世界を、破れてしまった私たちを、そのままにしておくことが、どうしてもおできになりませんでした。だから、子なる神である主イエスが、人となってこの世に来てくださり、十字架にかかってくださいました。神のうめきが十字架へとご自身を駆り立てたのです。そして復活のいのちを私たちに注いでくださいました。3月のコルネリオ会では、愛を語り合いました。愛するとはどういうことか、と熱心に語り合いました。私はふと思ったんです。なるほど私たちは、愛することにおいて、完全ではない。けれども、私たちは神さまの喜びだ。ここに神の子たちがいる。愛を与えられ、愛を注ぎ、なおかつその愛の不足を嘆く、新しい人びとがいる！とてもうれしくなりました。そして、こうして礼拝するうちにも私たちの愛は成長していきます。

【深呼吸して、祈って、さがせ】

何人かの方がたが、「栄光への脱出」（出エジプト記）を読んでくださいました。あの中でいろんな方が、心に残ったと言ってくれたのが、「深呼吸して、

祈って、さがせ」という言葉。これは数年前にナザレン山陰聖会に招かれたとき、子どもたちのためにも、なにか語って欲しいと頼まれたんです。ちょうど新学期が始まったばかりのころでした。中には、いじめなどで学校に行きたくなくて困っている子どもたちもいることでしょう。

こんなとき、私たちは「お祈りしなさい。」と言ってしまいがちです。けれどもいきなり祈るといつい「神さま、あの子にいじめがないようにしてください。」と具体的なことをお願いすることになります。するともう神さまがはじめてくださっている助けに気がつかないことが多いのです。ときには、「祈りがきかれなかつた。祈りが足りないからだ。」というスパイラルに入り込んでしまうこともあります。

だから深呼吸なのです。深呼吸するように、今すでに、注がれている神さまのあわれみ、うめき、恵みに心を開きます。落ち着いて。そして短く「あなたの助けを見つけさせてください。」と祈り、さがすのです。

「だれも助けてくれない。」と思い込んでいる子どもたちが、心ある先生や友だち、両親の助けを見つけることができるかもしれません。ひょっとしたら、それは牧師かもしれない。そう、語りました。これは、もちろん子どもたちのことだけではありません。私たち神さまとともに働く全ての者たちに、すでに助けは与えられているのです。コロナの中でも。災害の中でも。

イースターおめでとう！復活の光の中、続いてごいっしょに世界の破れをつくろってまいりましょう。神さまの腕の中で、おかれた場所でていねいに。

(2021年4月例会メッセージ)

献金感謝 (2021. 3. 1-2021. 6. 30)

皆様の献金を心から感謝します。

中野久永、飯塚正実、匿名、吉田靖、今市宗雄
康田洋子、内山義彦・和子、山田伊智郎、荻原洋聡
匿名、手塚正昭、清水幸子、石井克直、北川政雄
山下和雄、長橋和彦

イザヤ書 41 章 10 節「恐れるな」

牛込キリスト教会牧師 佐藤順

A. 可能発想——できるのだと考えること

前回のニュースレターに載せて頂いた「結婚の十戒」を書いたシューラー牧師は、「できるのだと考えること（可能発想）」をよく主張していた。可能発想とは、自分の目標が、三つの条件を満たすものであれば、必ず実現の方法があると信じ、創造的な解決策を発想することである。

三つの質問

1. それは神の御前で十分に偉大なことであるか。
2. それは傷ついている人々を助けるか。
3. それはまだ誰もやっていないことであるか。

イエス様は、「わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう」（ヨハネ 14:13）と言われた。「わたしの名によって」とあるから、御心に沿ったことならば、何でもできる、ということである。結婚も、その夫婦に与えられた使命があり、人を助け、神の御名をあげめるためにある。だから、素晴らしい結婚は可能なのだ！とまず考えることが大切なのだ。

イエス様が、「何でもできる」と言われているのに、私たちは失敗を恐れてしまう。恥をかくこと、他人から批判されること、そして他人から拒絶されることを恐れるのだ。

B. コルネリオ会 2021 年度の聖句はイザヤ書 41:10「恐れるな。わたしはあなたとともにいる」である。

預言者・イザヤが活動したのは、今から約 2700 年前であるが、当時のイスラエル民族は小国群を作り、平和と繁栄を享受していた。しかし、大軍事国家・アッシリア帝国が西アジア全域を占領し、その脅威はイスラエルにも及ぶ。当時のイスラエルは、核超大国の間にはさまれて脅かされている今の日本のような立場にあった。そのイスラエルの民が滅びずに、神の真の僕となるために、イザヤは遣わされた。イザヤは、自国防衛のために軍事費を増やすべきだとは言わず、ただ、神を畏れてこれに仕え、悪を離れて正義を実行し、神にのみ頼れと宣言したのだ。

これは信仰があれば軍備はいらない、ということ

はない。平和維持ためには、軍需と民需のバランスをとることであろう。兵器を外国に売りまくることで経済を維持するような国になってはならない。神を信じて、内外に自由貿易を基盤とする善政をしき、外国から攻めこまれないような、国家体制を打ち立てることが平和への道である。経済を維持するには、人が本来に必要とするものを提供することである。人間にとって最も大切なことは、魂の救いであるが、人は地上で生きている間は、霊と体の両方の次元で生きている。従って、どちらの領域にも配慮が必要なのだ。

C. 人が基本的に必要とするもの

人生で失敗を恐れずに済む秘訣は、必要を見出し、満たすことである。シューラー牧師が分類した、人が基本的に必要とする六つの項目とは、

1. 衣食住
2. 安全保障
3. 家族、友人
4. 理解され真価を認められること
5. 人助けをすること
6. 神を見出すこと

(Robert H. Schuller, *Power Thoughts* より)

これらに「まず、神の国と神の義を求めなさい」（マタイ 6:33）を当てはめた時、その事業は祝される。

1. 衣食住

ファーストフード店の食品は健康的でない、と言われる中、チキンサンドの元祖「チック・フィレイ」は、メニューがヘルシーだとして、賞を受賞している。「チック・フィレイ」は、クリスチャンのトロイト・キャセイ氏が創業、今では全米千店舗以上を展開するが、ファーストフード店でありながら日曜日は定休日なのだ。キャセイ氏自らが日曜日には教会で礼拝し、13 歳の男子の教会学校の教師を務める。そして従業員も教会に行けるよう、創業以来、日曜日は閉店なのだ。それでも、チック・フィレイの一店舗あたりの売り上げ増加率は、大手にくらべ

てずっと高いという。最大の稼ぎ時である日曜日に営業しなくても、御心に沿って良い食べ物を提供すれば、店は繁栄するのだ。

2. 安全保障 (Security)

以下は、足立順二郎『軍艦旗と十字架』(若葉社)からである(足立氏は元帝国海軍人で、戦後はクリスチャンとなり、海上自衛官として神にお仕えした)。

愛とは何か——。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」(ヨハネ 15・13)。友を愛するならば、その友のために命を捨てる。国を愛するならば、その国のために命を捨てる。これが、究極の愛である。この聖句は、自衛官、警察官、消防官などの職業倫理の根底をなしているものだと感じている。私に、この聖句を説いたのは、木更津時代に接したアイルランドのカトリックの神父であった。彼はジープの中で、「あなたは、大変よい職業を選んだ」と、私に語った。その理由を質問すると、彼はこの聖句を引用して「日本人のために、命を捨てて働け」と言った。

日本人の牧師では、江口武憲牧師が、説教の中で、「軍人が尊敬されるのは、彼が祖国のために命を捧げるからだ」と語られた。また、同牧師は、「友のために命を捨てるのは軍人だけだ」とも言われた。

イエス・キリストは、徹頭徹尾、他人のために働かれた。そして、他人(つまり、我々一人ひとり)の罪の赦しのために、命を捨てられた。ここに愛がある。

3. 家族、友人

誰にとっても家族や友人は必要である。家族のいない人にとって、教会は第二の家族となる。

4. 理解され真価を認められること

戦後の日本は、日本人自身がアイデンティティーを失っている。日本の真の歴史を明らかにして行こう。日本には古代から聖書の教えが入っている。例えば、伊勢神宮のイセはイエス、五十鈴川のいすゞ=イエズスではないか、とも言われる。

5. 人助けをすること

人間は、他人を助けられるようにならないと、幸せにはなれない。自分の国を愛せなければ、他国を愛せるようにはなれない。日本人たちが、自国を愛せるよう、配慮しよう。ちまたでは、日の丸嫌いの日本人が増えすぎてはいないだろうか。

6. 神を見出すこと

伝道するとき、イエス様の十字架の贖い、復活について、未信者に分かってもらえるだろうかと不安に思うものである。しかし、福音の真理は理屈ではなく、魂で受け止めるものである。

心(精神)は理屈で物事を判断するが、魂は理屈抜きで理解する。私たちは普段から、魂で判断していることが実は多い。例えば、音楽でドミソの和音が美しく聞こえるのは、理屈ではない。人を助けるとすがすがしい気持ちになるのも、理屈ではない。魂がそう判断するよう神によって作られているのだ。

魂と心の違い

心(感情)は自分でコントロールでき、体とも密接にかかわる。しかし、魂は心とも体とも無関係に、勝手な動きをして、人は魂の動きはコントロールできない。但し、魂に何が入るかは各自、選ぶことができる。心が謙遜で、神に向いているとき、魂には神の霊、聖霊が降る。一方、心が自己中心的で、悪い方を向いていると、魂には悪霊が入る。そして、魂は心の奥深いところ、潜在意識でつながっている。従って、魂に聖霊が入っていれば、心の奥深いところに響く魂からのメッセージは善いものとなる。魂が悪霊で満たされていると、潜在意識に浮かぶものは悪いことばかりになる。凶悪犯が犯行の動機を、「もう一人の自分がやれと言ったので、やった」と言うことがあるが、これは本当なのだ。

魂が聖霊を受けるのは、キリストの十字架により、自分の魂の罪が贖われると信じた時である。そして、魂が神の霊を受けた時に、人の思いを超えた出来事(祝福)が展開する。(テモテへの手紙第二1章7節「神は私たちに、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えてくださいました。」)

私たちの会堂も、30年前に2億円のプロジェクトとして始まった。当時、副牧師だった私が、この土地には教会を建てるべきだと、魂に発想が与えられたのだった。教会は牧師にしかできない使命であり、人を助け、福音を宣べ伝えることは、神の御業であるから、ここには教会が建つのだと確信していた。するとその都度、必要な助けが与えられ、礼拝堂は完成し、コルネリオ会でも用いて頂いている。

D. 結び

1. 謙遜になって心を神に向けよう。そのとき、魂

に聖霊が降る。

2. 御霊の導きがあるのだから、恐れを取り除いて頂き、本来の使命を果たせる者となろう。

2021年6月12日(土) ©佐藤 順

[参考文献]

Robert H. Schuller, *Power Thoughts* (New York, NY: HarperCollins, 1993)

(2021年度コルネリオ会総会メッセージ)

2021年度総会報告

コルネリオ会 圓林 栄喜

6月12日(土)、2021年度コルネリオ会総会をZoomで実施し、2020年度の活動報告・会計報告と2021年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議を行いました。

2021年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は次のようになっています。異議のある方は会長(石川信隆)宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

1 2021年度コルネリオ会活動計画

1. 方針

2021年度コルネリオ会の聖句:

「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。」

イザヤ 41:10

毎朝デボーションによって聖霊の力を得て、毎日の仕事にかかる。

2. 具体的活動

(1) 例会

ア 例会は、原則として毎月第2土曜日に開催する。ただし、2021年度もコロナが日本・世界に蔓延している現状に鑑み、早急な終息を主に祈るとともに、メールおよびZOOM会議を通して、学びを充実する。

イ 学び会はAMCFのテキスト(Inductive Bible Study; 2021年度もヨハネの福音書)に従い、会員の霊的成長につながる学び会とする。また聖書の学びに加え、牧師先生方によるメッセージおよ

び証しや祈り会によってお互いの信仰を高め合い、現役会員の使命が達成されることを祈る。

ウ 新来訪者を歓迎し、共に学び交わる環境を醸成していく。

(2) 広報

ア 会員の証しや学び会での恵み等、ニュースレターの記事をさらに会員の霊的成長につなげる内容に改善し、会員の活動への参画意欲を醸成して行く。

イ 中央からの情報発信だけでなく、地方でのコルネリオ会活動(沖縄支部・関西支部・東北支部、アメリカ支部)の情報提供にも心がける。

(3) 宣教

ア ホームページにコルネリオ会の例会・総会の議事録を載せる。また各国AMCF等のホームページの日本語での紹介等を実施して会員等が活用しやすいホームページ作りに着意する。

イ 韓国軍人クリスチャンおよび防大生との交わりを継続し、信仰を深め励まし合う。

ウ 宣教団体との協力を継続し、会員の霊的成長につながる情報を提供していく。

(4) 国外活動への参加と支援

ア AMCF(世界軍人キリスト者の会)及びACCTS(AMCFの教育支援機関)およびMSO(韓国の宣教支援団体)との連絡・調整を維持し、相互の意思疎通を図る。

イ 2021年 EA Interaction(9月25日(土))に

Zoom 会議で決定)

テーマ: How to build up military evangelical mission、Hong-Fu Chen 台湾会長

参加者: 関博之兄、荻原洋聡兄、および希望者

目的: AMCF(世界軍人クリスチャンの会)との親善に努める。

ウ ACCTS(アメリカ、リック・ライレス元大佐)および MSO(韓国、オー教授)、世界会長(スリアル・ウィーラーソーリヤ(スリランカ))、東アジア副会長(Andrew Tzeng(台湾))、モンゴル(スマイヤ会長)などとの交流を継続する。

(5) 会計

ア 活動の運営資金が備えられるよう、ニューズレター・ホームページ等を通じて祈り求めるとともに、支援者の獲得に努める。

イ 予算の効率的な使用に心がける。

2 2021 年度 役員人事

役 職	氏 名 (細部役割等)
会 長	石川信隆 (全般、海外担当、名簿管理)
副会長	今市宗雄 (会長補佐、例会担当) 中野久永 (会長補佐、海外担当)
総 務	圓林栄喜 (総務全般) 尾崎伸作 (総務補佐) 森川拓弥 (総務補佐) 佐藤有希子 (総務補佐)
企 画	関博之 (アイデア企画) 荻原洋聡 (アイデア企画補佐) 加瀬典史・真弓(賛美)
渉 外	藪内隆志 (日本語ホームページ) 中野久永 (英語ホームページ)
広 報	圓林栄喜(ニューズレター原稿募集・編集) 芝 祐治(ニューズレター宛先印刷・発送) 山田伊智郎 (地域教会協力) 宮田皓且 (地域教会協力) 海野幹郎 (国内広報担当) 中村誠一 (沖縄支部) 中野久永 (アメリカ支部)
会 計	長濱貴志 (会計業務全般)
監 査	中岡一秀 (会計監査)
教職顧問	佐藤順牧師 (牛込キリスト教会) 金学根牧師 (自衛隊宣教会) 井草晋一牧師 (関西支部担当) 徳梅陽介牧師 (馬堀聖書教会)

3 2020 年度決算

(2020. 4. 1 ~ 2021. 3. 31)

1 収入	献金一般	¥426,610
	クリスマス献金	¥9,000
	利息	¥3
	前年度繰越金	¥1,389,915
	合計	¥1,825,528
2 支出	講師・謝礼費	¥40,000
	ニューズレター作成・発送費	¥66,013
	新聞雑誌広告費	¥0
	集会費・例会会議費	¥28,000
	慶弔費	¥0
	接待交際費	¥0
	旅費・交通費	¥0
	事務通信費(はがき・切手等)	¥7,212
	雑費(振り込み手数料)	¥15,858
	献金(国内教会・海外へ)	¥0
	台湾インタラクティブ参加支援	¥0
	小計	¥157,083
	2021年度への繰越	¥1,668,445
	合計	¥1,825,528

4 2021 年度予算

(2021. 4. 1 ~ 2022. 3. 31)

1 収入	献金一般	¥300,000
	クリスマス献金	¥5,000
	利息	¥10
	前年度繰り越し	¥1,668,455
	合計	¥1,973,455
2 支出	講師等への謝礼・支援費	¥50,000
	ニューズレター作成・発送費	¥65,000
	新聞雑誌広告費	¥20,000
	集会/例会費	¥36,000
	慶弔費	¥20,000
	接待交際費	¥10,000
	旅費・交通費	¥10,000
	事務通信費(はがき、切手等)	¥20,000
	雑費(振り込み手数料)	¥15,000
	献金(国内・国外教会へ)	¥20,000
	次年度への繰越	¥1,707,455
	合計	¥1,973,455
	次年度繰越金	¥1,707,455

コルネリオ会月例会のご案内

毎月第2土曜日午前9時~10時30分を基準に、月例会(聖書の学び、メッセージ聴講等)をオンライン(ZOOM)で実施しています。海外や国内でどこからでも参加でき、幸いな交わりが続いています。

興味のある方は下記までお問い合わせください。

会長: 石川信隆 (cgshikawa@m4.dion.ne.jp)

(編集子) ニューズレターを読んだ皆様のご感想または近況報告をお待ちしています。